

平成 27 年 6 月 1 日

平成 27 年度松浪地区まちぢから協議会 第二回防災対策部会

日 時：平成 27 年 6 月 18 日（木）18 時 30 分～20 時 30 分

場 所：松浪コミュニティセンター ホール 1・2

松浪地区まちぢから協議会  
防災対策部会

次 第

司会：有川勝治

1. 開 会

2. 植松会長挨拶

3. 議 題

① 防災対策部会 部会員自己紹介

② 平成 27 年度 防災対策部会事業

(ア) 選定、担当者及び時期等

(イ) 市民集会における対応

(ウ) その他

③ 平成 27 年度 防災訓練計画

(ア) 訓練想定

(イ) 訓練項目及び指導者

(ウ) その他

④ 平成 27 年度 防災訓練実行委員会 委員登録依頼

4. 次回の第三回防災対策部会は、7 月 2 日（木）18 時 30 分～20 時 30 分

松浪コミュニティセンター ホール 1・2

第 1 回防災訓練実行委員会は、7 月 10 日（金）18 時 30 分～20 時 30 分

松浪コミュニティセンター ホール 1・2

平成27年度松浪地区まちぢから協議会  
第二回防災対策部会資料

議題3. - ② 平成27年度 防災対策部会事業 選定関連

(1) 平時（発災前）の対策

a.地区の被災想定を正しく住民に伝える啓蒙活動。

- 最新の津波被害予測を知り、クラスター火災に対する警鐘を行う。
- 防災マニュアルの作成、配布。etc

b.地区の被災想定に基づき、行政に対応を求める活動。（市民集会を含む）

- 「移動式ホース格納箱」の様な、行政の後付け対応への見直し要求。
- 道路幅の改善や、延焼防止用隔壁の設置等の要請。etc

c.防災用品の普及支援活動。

- 感震ブレーカーの設置や、耐震補強工事の普及支援。
- スウィッチ断ボールや、家具転倒防止グッズの購入補助。etc

d.その他

(2) 有事（発災後）の対策

a.防災訓練。

- 防災訓練実行委員会にて対応

b.災害時要援護者等への包括的な避難支援活動。

- 対象者の把握（行政や民生委員との連携）。
- 発災時の情報伝達方法や誘導方法の確認。etc

c.鉄砲道より南側に新規消防団分団の設立の嘆願活動。

- 「移動式ホース格納箱」の設置には限界が有る。
- 国道1号線の小和田第12分団だけでは、広い松浪地区をカバー出来ない。

d.その他

松浪地区市民集会テーマ抜粋（防災分野）

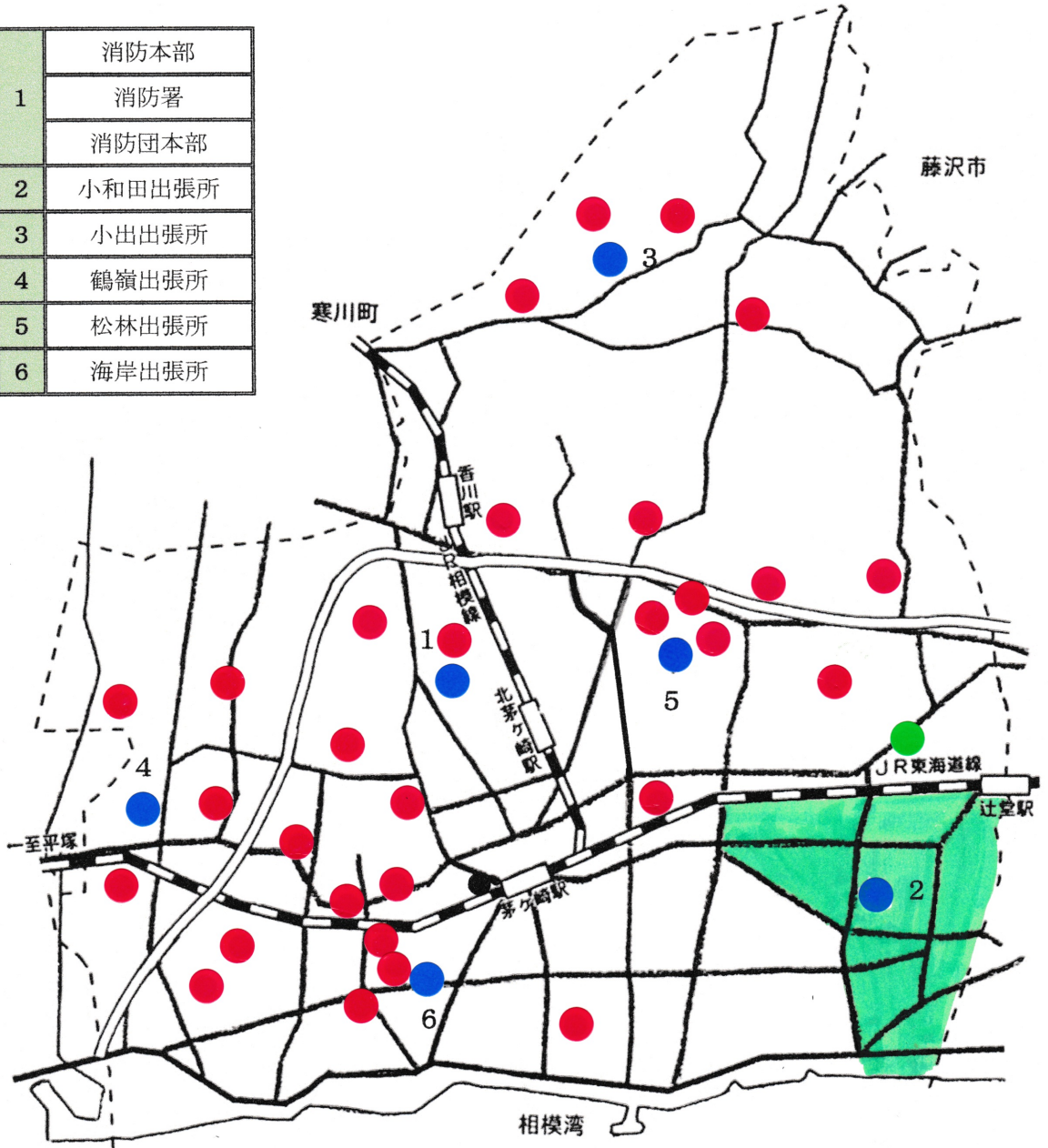
テーマ	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
クラスター対策		消火栓の利用→ 簡易ポンプ→ 貯水槽→ 消火器→ 狭小住宅→	移動式ホース→ 簡易ポンプ→ 貯水槽→ 消火器→ 狭小住宅→	移動式ホース 簡易ポンプ 貯水槽 街頭消火器 狭小住宅	
情報伝達手段	防災無線→ 茅ヶ崎FM局→	防災無線→ 防災ラジオ(旧) 簡易無線機(3R)→	防災無線→ 防災ラジオ(新)→ 簡易無線機→	防災無線 防災ラジオ(新) 簡易無線機→	
避難場所	津波一時退避場所→	テラス跡地	津波一時退避場所	広域避難場所 (ゴルフ場)	
その他	水路上道路 中学生の活用→ 災害時要援護者	汐見台地下道 中学生の活用→	中学生の活用→		

設置基準 街頭消火器 200㎡に1台  
移動式ホース格納箱 消火栓3か所に1台

# 消防分布図



	消防本部
1	消防署
	消防団本部
2	小和田出張所
3	小出出張所
4	鶴嶺出張所
5	松林出張所
6	海岸出張所



● Y は消防本部・消防署各出張所を表します。

● は消防団各分団器具置場を表します。● は才12分団小和田器具置場

\*なお、消防本部各庁舎の名称・所在地は30、31ページに、各分団器具置場の名称・所在地は72ページに掲載してあります。

平成27年度 第1回 松浪地区まちぢから協議会防災対策部会 議事要旨（案）

1 日 時 平成27年5月27日（水）午後6時30分より

2 場 所 松浪コミュニティセンター会議室1・2

3 出席者 自治会長、自治会の防災部長等、事務局（市民自治推進課）

4 開催目的

部会長選任についての報告、副部会長の選任、防災対策部会部会員登録の依頼、防災訓練実行委員会委員の登録依頼、今後の進め方についての意見交換

5 新部会長選任の報告

松浪地区まちぢから協議会 規約第23条 運営委員会は次の事項を審議し、議決する。（1）部会長の選任及び解任に関する事項 により、5月20日（水）総会後の運営委員会で有川委員を新部会長に選任いたしました。

6 議題

（1）副部会長の選任について

松浪地区まちぢから協議会規約第24条各部会は委員及び部会員で構成する。（4）副部会長は、部会の中から互選により選任する。

【出された主なご意見】

◎緑が浜自治会牧島会長から、緑が浜自治会の田中氏を推薦。

【合意事項】

◎満場一致で、副部会長を緑が浜の田中氏に選任することを合意。

（2）平成27年度防災対策部会部会員登録依頼

別紙「平成27年度防災対策部会部会員登録依頼」を各団体から提出いただきたい旨を説明。

（3）平成27年度防災訓練実行委員会委員登録依頼

別紙「平成27年度防災訓練実行委員会委員登録依頼」を各団体から提出いただきたい旨を説明。

（4）その他

【出された主なご意見】

◎昨年の市民集会でクラスター火災対策のことについてもテーマとして取り扱ったが、その後、防災対策部会で議論進められなかった。

◎防災対策部会として、災害発生前にすべき平常時の事前の対策、災害発生後にすべき有事の際の取り組みに分けて、部会の活動を進めてはどうか。

◎災害発生前にすべき平常時の取り組みとしては、基本的なデータ（例：焼失家屋想定数、死亡者総定数、市の防災対策の計画等）の情報共有が大切ではないか。

- ◎平塚市、藤沢市に比べて、災害情報の共有が行政用防災無線にかたよりにあるように思える。隣近所同士のコミュニケーション・協力が大切。昨年の安否確認訓練を通じて、隣近所のつながりが強くなった。
- ◎地区全体の共通の課題の共有が必要ではないか。例えば、クラスター火災、道路閉塞の課題について、松浪地区全体の状況・基礎的データを共有した上での議論が必要ではないか。
- 今年の市民集会もテーマ別に実施予定。具体的には分科会形式で行う予定であり、クラスター火災についてもそうした中で話し合う場も設定できるのではないか。
- 茅ヶ崎市の都市政策課から提案のあったまちぢから応援ツール（感震ブレイカー等）についても、今年度具体的な動きがあると思う。
- 例えば、浜竹四丁目では、災害発生後により多くの人が生き延びることを目的とした趣旨のチラシを1000部印刷し、周知した。そうしたソフト的な事業も部会として取り組んでもよいのではないか。
- 日々の活動を通じて、クラスター火災対策が本当に実現可能なのか。地震・火災発生時の高齢者の避難も不安がある。有事の際に、本当に実現可能な防災マニュアルをつくり、共有すべきではないか。
- 高齢者世帯が多くなり、若い世代の転入者も多い。地域住民同士が同じ情報を共有することが大切ではないか。（浜竹四丁目では、ブログ等での情報発信を行っている。）
- ◎防災対策部会としての平常時の課題に対する取り組みと、防災訓練の取り組み、両輪での活動が大切ではないか。

(5) 今後の日程について

- ◎第2回防災対策部会：6月18日（木）18時30分～20時30分  
松浪コミュニティセンター ホール1・2

以上